

# 「くまもと『夢への架け橋』教育プラン」の取組状況



# くまもと「夢への架け橋」教育プラン

■(第1期)18指標中、11指標について目標を達成

■(第2期)35指標中、26指標の数値が上昇。うち、6指標は最終目標を達成

## 「夢を叶えるミッション」の状況

成果指標	策定時(H24)	目標値(H30)	現状値(H26)	
「くまもと家庭教育支援条例」の認知率	21.5%(H25)	60%	17.3%	↘
学校は楽しいと感じる児童生徒の割合	小学校 92.8% 中学校 89.1% 高等学校 88.1% 特別支援学校 94.2%	向 上	小学校 92.9% 中学校 90.8% 高等学校 90.0% 特別支援学校 93.2%	↗
「熊本の心」を活用した道德の時間を地域や保護者に公開した学校の割合	小学校 90% 中学校 82%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 96%	↗
高等学校において、学校が把握する発達障がいの診断を受けている生徒についての個別の教育支援計画作成率	23.9%	60%	60.2%	↗(達成)
英語が「好き」「分かる」生徒の割合(中学生)	好き 48.4% 分かる 47.5%	向 上	好き 52.3% 分かる 51.1%	↗
生活保護世帯の高等学校進学率	94.6%	98.9%	100%	↗(達成)
海外高校への留学者数(※目標値はH24~27の累計)	19人	100人(※)	44人	↗
大学等進学率	43.6%	47%	45.1%(H25)	↗
県立高等学校における大学等進学希望者の進学率	80.6%	83%	83.3%(H26)	↗(達成)
スーパーティーチャー(指導教諭)の導入	—	導 入	県立学校に5名配置	↗(達成)
コミュニティ・スクールの数	24校	60校	55校	↗
学校を支援するボランティアの数	61,051人	76,000人	62,759人	↗
ICTを活用して指導できる教員の割合	69.7%	100%	75.7%(H25)	↗

# ● 主な課題

## 【家庭教育の推進】

○少子化・核家族化等が進行。家族の形態やライフスタイルが変化し、家庭・地域の教育力が低下。「くまもと家庭教育支援条例」等に基づく取組みの充実が必要

## 【学力向上対策】

○本県の児童生徒の学力は概ね全国平均以上。基礎学力の定着、進路希望の実現に向けた学力向上のため、支援体制の充実や、教員の指導力向上が必要

## 【いじめ・不登校対策】

○全国的にいじめに関する事案が多く報告されている。命を大切にすることをはぐくむとともに、いじめの未然防止及び早期発見・解消のため、相談・支援体制の充実が必要

## 【特別支援教育】

○知的障がいや発達障がいなどの教育上特別な支援を必要とする児童生徒数が年々増加傾向にある。新校整備など教育環境の整備や通常学級の担任を含むすべての教員の専門性向上が必要

# 蒲島県政の主な教育政策

## 夢を叶える教育

- 「**貧困の連鎖を教育で断つ**」取り組み
- **グローバル人材の育成**
- **私学の振興～熊本時習館構想～**

※熊本時習館構想: 多くの人材を輩出したかつての藩校時習館に習い、平成22年度から取り組む私学振興策(公立高校生も対象とした施策あり)

# 1. 「貧困の連鎖を教育で断つ」取組み

## ◆子どもたちへの学習支援

### 「生活困窮世帯等への学習援助事業」による支援(H24～)

生活困窮世帯や生活保護世帯の子どもたちを対象として、学習塾形式による学力の向上や学習習慣を身に付けるための支援

27箇所(100名利用)(H27.9現在)

### 地域の学習教室の設置(H24～)

ひとり親家庭の子どもたちに、最寄りの地域で学びの場・安らぎの居場所を確保・提供

51教室(232名利用)(H27.9現在)



### 「ひとり親家庭応援の塾」による支援(H24～)

ひとり親家庭に対して受講料を割り引いたり、ひとり親を雇用している塾を「ひとり親家庭応援の塾」として登録

107箇所(768名利用)(H27.3現在)

### 地域未来塾(H27～)

様々な事情により、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていなかったりする小中学生等への学習支援

34箇所(1,202名利用)(H27.9現在)

# 1. 「貧困の連鎖を教育で断つ」取組み

## ◆大学等進学への経済的支援

生活保護世帯からの進学の「夢」応援資金貸付(H21～)

(大学進学者等に対する生活費の無利子貸付)

これまで67名利用

大学入学時の給付型応援資金(H23～)

(大学進学を支援するための資金の給付:1人10万円)

これまで30名利用

県立大学における推薦入試枠の設置(H22～)

(年間2名以内)

これまで9名入学

要保護児童進学応援資金(全国初、H23～)

これまで11名利用

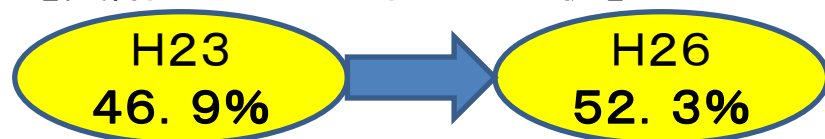
(児童養護施設等を退所し、大学等へ進学する者に対する生活費の無利子貸付)

## 2. グローバル人材の育成

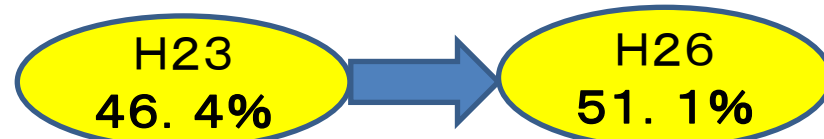
### ◆中学生向け英語音声教材の作成・活用（H23～）

音声教材「I CAN DO IT!」を活用した試験「くまモン英語チャレンジ」を中学生3万人以上が受験

【英語が好きと回答した生徒】



【英語が分かると回答した生徒】（県学力調査結果）



### ◆小学生向け英語音声教材（I CAN DO IT! Junior）の作成・配布（H27）

### ◆熊本・モンタナ留学プログラム（H27.1覚書締結）

モンタナ州で高校3年生として学びながら、州立モンタナ大学の授業を受講

## 2. グローバル人材の育成

### ◆海外進学支援（総合的な支援体制の構築）

熊本時習館海外チャレンジ塾（H25～）

・WEBによるTOEFL対策講座 ・2泊3日の英語合宿 ・教職員対象研修会 等

受講生116名（H26）、海外進学者計8名

熊本・モンタナ奨学制度（H24～）

計3名

県が推薦した者に対し、姉妹友好都市の米国モンタナ州にある大学から奨学金を支給

海外難関大学進学者に対する進学給付金制度（H24～）

### ◆「トビタテ！留学JAPAN」地域人材コースの実施 （H27～）

意欲ある大学生のインターンシップ等を伴う海外留学を支援するため、地元経済界・大学と連携し、取組みを推進

6名（H27）



## 2. グローバル人材の育成

### ◆世界チャレンジ支援基金の創設

民間からの  
寄附を活用

高校生

#### 州立モンタナ大学への高校生派遣（H25～）

県内高校生を州立モンタナ大学に派遣し、海外で学ぶ素晴らしさを体験させる

30名（H27）

志す若者  
芸術を

#### 若手芸術家の海外チャレンジ支援 （H25～）

芸術家を目指す学生や若手芸術家に対し、海外でのレッスンやコンクールなどに挑戦するための海外渡航費を助成

8名（H26）



人材  
ビジネス

#### 若手ビジネス人材の海外チャレンジ支援（H26～）

県内の若手ビジネス人材が海外で研修を受講するための費用の一部を助成

6名（H26）

## 3. 私学の振興～熊本時習館構想～

### ◆多様な進路選択に応じた支援

#### 特別授業(H21～)

学業、文化、スポーツなど学校のニーズに応じた様々な分野の講師による授業

#### 東京大学視察研修(H21～)

工学系の講義受講や研究施設見学

60人(H27)



### ◆生徒の意欲・自主性を向上させる取組み

#### 「がんばる高校生」を県が表彰(H21～)

毎年約100人

学業、スポーツ、文化、ボランティア等で模範となる生徒を表彰

#### 特別講演(H21～)様々な分野の第一人者による講演

#### スクールソーシャルワーカーの派遣(H25～)

不登校やいじめ等の課題を抱える生徒、学校を支援

